

2019年5月20日

NO. 106

ぶったあ

通信

発行 社会福祉法人 ぶったあ福祉会

〒六五六二四〇一 淡路市岩屋 四八八の一

みんなの家 ☎ (0799) 706145

みんなの家 Fax (0799) 704001

携帯電話 090-8211-5087

2月から3月にかけて、県や市からの監査があり、2019年度の事業計画を主とした理事会&評議員会等がありました。4月から5月にかけての淡路島国営明石海峡公園での出店販売も無事終わりました。

5月から6月にかけて、内部監査や2018年度の事業報告等を主とした理事会&評議員会の準備に入ります。また、秋に向かって草刈りの仕事に追われる日々が続きます。

さて、新しい場所に移ってから半年が過ぎました。以前の「みんなの家」と違って、新しい「みんなの家」は広く解放感があります。廊下が広いので車イスを利用する人達にとって動きやすくなりました。庭も広く、生活介護を利用する人達がよく日向ぼっこをしています。

お菓子やパンを作る工房も広くなり、新しいパン作りにも挑戦し技術を磨いています。

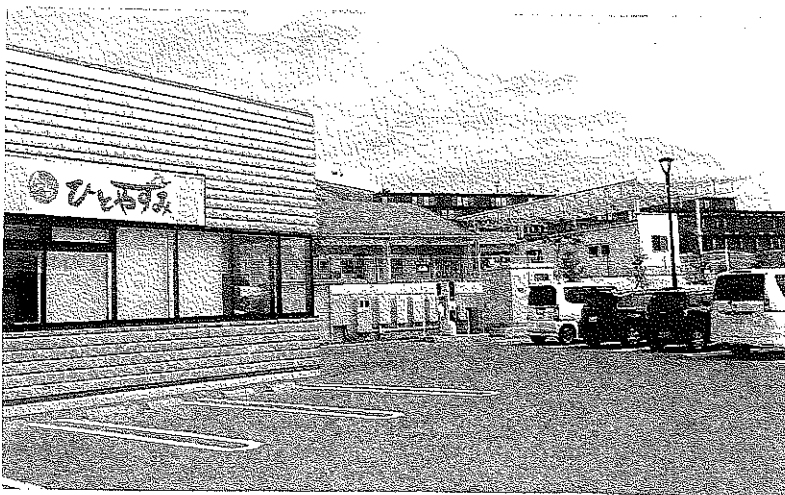
事務所も広くなり、全職員が集まることができ、事務仕事もしやすくなりました。道行く人も声をかけてくれ、出会いが多くなりうれしいことですが、旧の「みんなの家」は、眼下に岩屋の町並み、明石海峡や明石海峡大橋を挟み神戸の山々が見え、景色は抜群だったのを思い出します。

食堂「ひとやすみ」は、皆様に支えられながら5年目を迎えました。食堂の周辺は、4カ所の会社が進出し、後ろには「岩屋認定こども園」ができ、少しづつ景色も変わって来ています。

「花の店ぶったあ」のある岩屋商店街は、町の人口減少と共にお店も減りつつあります。商店街を歩く人も少なくなりました。そんな状況の商店街に、㈱スマイルサポートが運営する「地域密着型デイサービスみりおん」が、淡路市社会福祉協議会が運営する「つながり」の近くにできました。福祉で、少しでも人の賑わいのある商店街にできたら良いですね。

10年前に始めた共同生活援助（グループホーム）事業ですが、現在3カ所のグループホームに12名の人が世話をしている職員と共に暮らしています。年齢が増すことに、薬管理と健康管理がより一層重要になりつつあります。これからも個性豊かなメンバーと共に、楽しくにぎやかな「ぶったあ」でありたいと願っています。

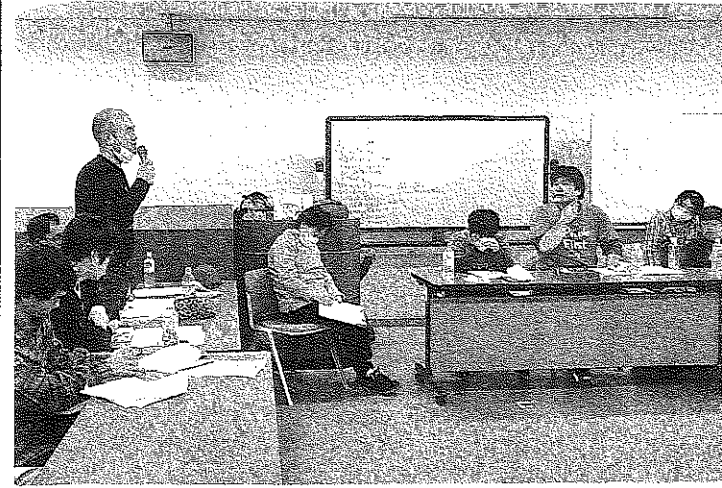
中谷勇一



食堂 ひとやすみ

<<ピープルファーストの活動>>

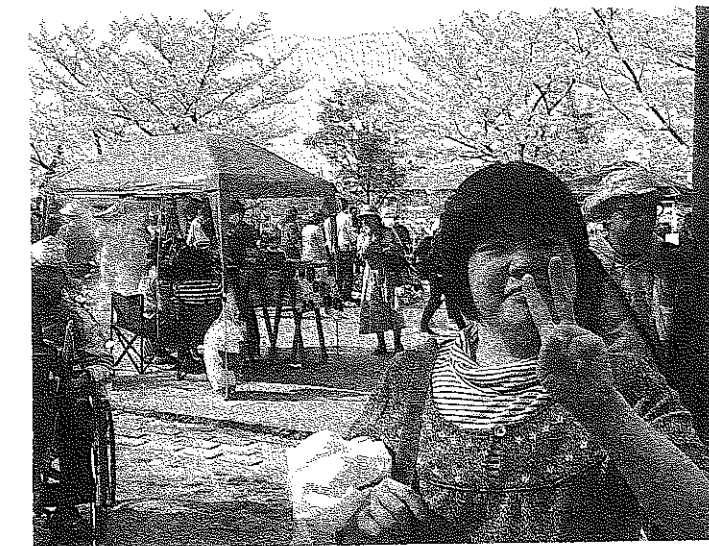
●1月20日(土)
「年間スケジュールを決める・三田市の監禁事件についての勉強会」
こつべ市民福祉交流センターにて行われ、全体で約40名、ぶったあからは6名参加しました。
昨年ニュースになった三田市の監禁事件について学びました。障害当事者の熱い意見が飛び交い、いろいろなことを考えさせられました。



●3月23日(土)
「優生保護法学習会」
この日もこつべ市民交流センターで行われ、全体で約25名、ぶったあからは8名参加しました。
優生保護法に基づいて行われた強制不妊手術について講師から学びました。
兵庫県で過去にあった「不幸な子どもが生まれない運動」などを知り、とても悲しくなりました。



●4月6日(土)
「京都でお花見」
全体で約25名、ぶったあからは4名で参加し、京都の梅小路公園までお花見に行ってきました。
お天気も良く、桜もほぼ満開でも綺麗でした。また、大きなフリーマーケットも行われていたので、お買い物も楽しみ、みんな満足のいく一日になりました。



権田君、高校入学おめでとう

中谷秀子

障害を理由に3度も不合格になりながら、決して普通高校をあきらめなかった権田君。家族も周りも不安に、くじけそうになった時も、「ゆうやは決して揺らぐことがなかった」と誇らしげに息子を見上げるお母さんは、やっぱり強かった。

チヨコンと行儀よく座っている妹のそらちゃんも、もう2年生。お母さんが看護師としてぶったあ福祉会で働いていた時は、お腹の中だった。

野球部に出ていて会えなかった弟のともや君は、当時おんぶされていた。

ゆうや君はもう、すっかり青年の顔。白い歯を見せた笑顔が印象的だった。

前髪を上げ、ソバカスのホッパが魅力的な働き者のお母さんは、入学後の学校の様子をうれしそうに話してくれた。しんどかったり、くやしかったり、どんなに大変な日々を過ごしてきただろう。

すばらしい笑顔に、権田さん一家に、カンパイ!

これからますます応援していきます。



支援者と合格の喜びを分かち合う権田祐也さん(中央)と母の由記子さん(中央奥)=28日夕、神戸市長田区寺池町1、兵庫県立湊川高校

脳性まひ16歳 湊川高に合格 淡路の権田さん、再募集に挑戦

2019年3月29日(金)
神戸新聞より

夜間定時制の神戸市立楠元小学校(同市兵庫区)の入試で、定員を下回っていたのに、にもかかわらず、昨年に引き続き不合格になった重度脳性まひの権田祐也さん(16)は淡路市で28日、夜間定時制で再募集された兵庫県立湊川高校(同市長田区)に合格した。
権田さんは話すことではできないが、うなずくことで「はい」、首をふることで「いいえ」を意思表示。これまで看護士を配置した地元の小中学校で学んできた。学校見学を重ね、第1志望の湊川高校を受験したが、2年にわたり定員内不合格だった。支援団体のメンバーは「障害を理由にした不合格では」と訴えていた。湊川高校の再募集の試験では問題の読み上げなどの支援を受け、選択問題に取り組んだ。

合格発表の瞬間、集まった支援者から大きな歓声と拍手が起り、権田さんも満面の笑み。母の由記子さん(43)は「頑張らせてきたのが報われたのかと思っただけでもあったけれど、本当に良かった」と涙を浮かべた。
重度の障害がある生徒を初めて受け入れる湊川高は「今後、要望を聞きながら、支援体制を整えていく」と話している。(鈴木久仁子)

淡路市人権シネマの集い

2月9日(土)

淡路市人権教育研究協議会主催で、淡路市立サンシャインホールで行われました。会長の山添繁氏のあいさつ、土井章光氏から「保護司について」の解説がありました。

その後、映画「しゃぼん玉」の上映がありました。東伸児監督による作品で、市原悦子さんの遺作になります。

私達は、映画の観賞と共に、パンやお菓子を販売させていただきました。



13:00 ~ 13:30

淡路市社会福祉大会

第9回淡路市社会福祉大会
第14回地域支援事業市民フォーラム

2月23日(土)

淡路市社会福祉協議会主催でサンシャインホールにて行われました。福祉功労者の表彰式、成年後見制度の相談、河合雅美氏(京都市)による「認知症と共に自分らしく生きる」母親が語る、新しい人生」と題した講演がありました。あわせて作業所や市内デイスサービスの作品販売がありました。



第22回あわじ耳の日のつどい

3月3日(日)

淡路市立中央公民館(しづのおだまき館)において開催されました。耳の大切さを考え、聴覚障害について、一層の理解を深めていただくため毎年耳の日にちなみ3月に開催しています。参加無料でどなたでも参加できます。聴力検査や手話教室。午後には、手話落語やろう舞台俳優による芝居がありました。島内福祉事業所によるバザーにも参加しました。

石屋小学校卒業式

3月20日(水)

「ぶったあ」を利用しているメンバーの多くは石屋小学校の卒業生です。毎年、卒業式に参加させてもらっていますと、小学校当時のメンバーのことが思い出されます。今年も素晴らしい卒業式に感動しました。



地域密着型サービス「みりおん」竣工式
岩屋地区生活拠点つながり5周年記念式典

3月31日(日)

合同開催が「みりおん」の1階で行われました。

(株)スマイルサポートが運営する「みりおん」も、淡路市社会福祉協議会が運営する「つながり」も、「花の店ぶったあ」も岩屋商店街にあります。人口が減り、年々寂れて行く岩屋商店街ですが、福祉の商店街としての町づくりができれば良いですね。

みんなのお花見まつり

4月5日(金)

東浦公民館の主催で、東浦事務所周辺で行われました。東浦事務所の山側駐車場は隠れた桜の名所で、その桜をバックに「お花見&音楽会」を開きました。

3B体操、廣田直仁先生と一緒に歌おう等のステージがあり、昔ながらの楽しいメロディーをみんなで口ずさみながら楽しいひと時を過ごしました。フリーマーケットや紙芝居コーナーもあり、私達もパンやお菓子を販売しました。



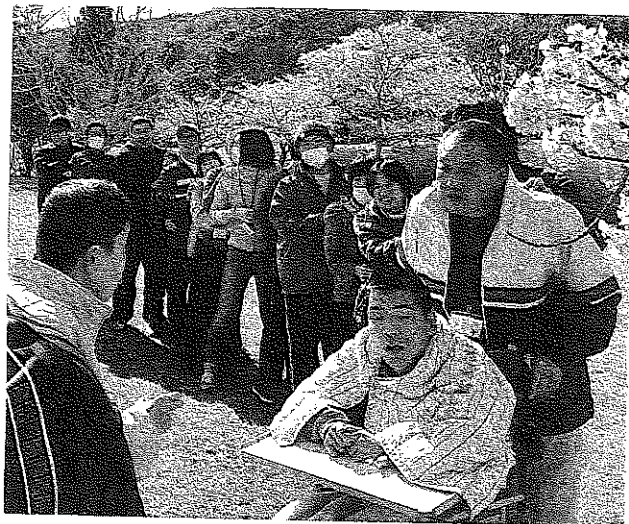
<<園芸福祉>>



●12月14日(金)
松ぼっくりを使って、クリスマスケーキ型の置物を作りました。
特大の松ぼっくりに、ドライフラワーや金銀の星形、赤やピンクのハート形を型取ったシートをいっばい飾りつけ、色とりどりのリボンで出来上がり。完成品を自慢気に「ハイ、チーズ」。
工作に加えて、毎年恒例のビンゴも行っていました。賞品をもらって、みんなとても喜んでいました。
今年も笑顔で園芸福祉を終えました。



●2月8日(金)
バレンタインのリースを作りました。
恋人はいますか？ボーイフレンドはいますか？友達にですか？お母さんにですか？それとも自分に？
出来上がったハート型のかわいいリースで、幸せな気分になりました。



《海峡フレンズの皆さん、いつもありがとうございます》

第8回春のほほえみ祭り

4月20日(土)

地域密着型特別養護老人ホームほほえみ主催で行われました。
屋台やゲーム、催しとして、よさこいソーラン、子供獅子舞、南京玉すだれ、和太鼓がありました。
私達は、お菓子とパンを売らせていただきました。



《淡路島国営明石海峡公園「春のカーニバル」》

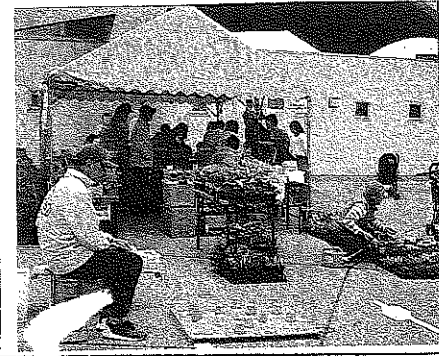
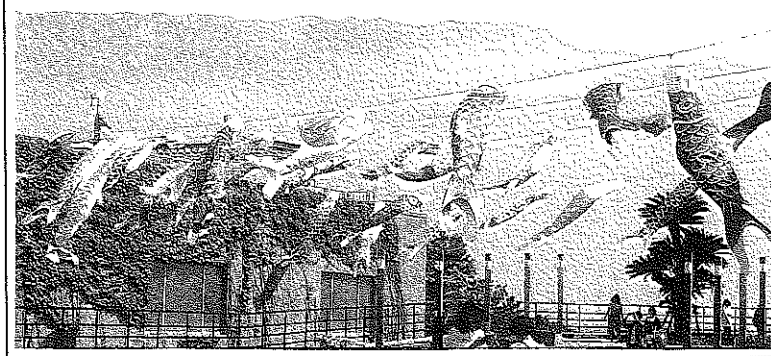
4月6日(土)～5月5日(日)
土・日・祝日に販売

淡路島国営明石海峡公園は、平成12年に開催された「淡路花博ジャパンフロア2000」の会場でもあり、年間を通して四季折々の多くの花々を見ることが出来ます。

春や秋にはイベントも催され、私達「ぶったあ福祉会」もお店を出させていただいています。

今年は大型連休もあり、期間中にはたくさんのお客様がありました。

広い園内には、スイセン・チューリップ・ムスカリ・リビングストーン・ネモフィラ等の花が一面に咲き誇り、その美しさを楽しむことができました。



その他の動き

【絵島の掃除】

淡路市から委託されている、中道橋の水やりと絵島の清掃の仕事があります。絵島は、長年たまった砂の上に雑草が生えています。今はその砂を取り除きながら、少しづつきれいにしています。短時間なのですが、取り除いた砂を運ぶのは力がいらいます。



【草刈り】

5月の半ばに入り、草刈りの仕事が増えはじめました。職員はメンバーと共に、草刈り機、ガンジキ、ほうき等、必要なものを車に積み込みます。蜂の対策と熱中症対策で必要なものも積み込みます。汗とほこりと暑さの中で草刈りをしていると、収入を得ることの大変さが見にします。メンバーの工賃アップと簡単に言われるが…と愚痴も出てしまいそうです。が、出しません。(?)



【春祭り】

2019年5月11日(土)と12日(日)は石屋神社春祭りです。曳き“だんじり”と“神輿”が練り歩きます。“だんじり”の上で衣装を羽織った子供が踊りを披露をしたりします。今年は、長浜の“だんじり”が出ていました。11日(土)の宵宮に、商店街のぶったあの花の店でお菓子やちやを売りました。メンバーも“だんじり”を見に行ったりして春祭りを楽しみました。

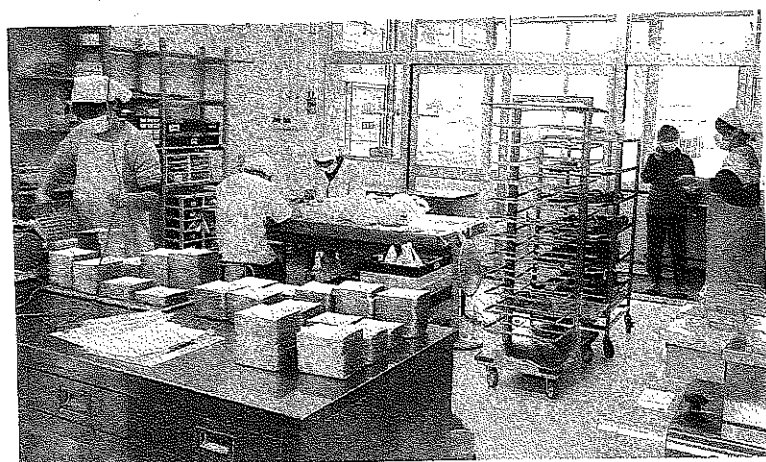


【山の倉庫の整理】

時間がなく、ほったらかし状態になっていた山の倉庫の片付けをみんなでやりました。

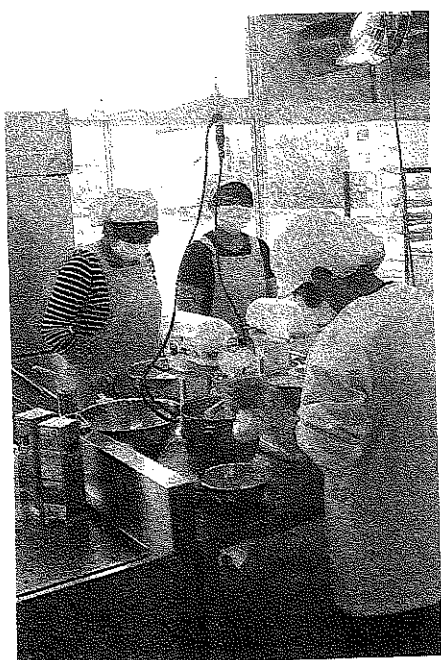
玩具や頂いたガラスのコップ等を整理し、新しい段ボールに入れ、ゴミブリが入らないように、段ボールをビニール袋に入れます。棚に並べ、終了です。

倉庫はスッキリしましたが、山はまだまだやることいっぱいあります。雨でやられた水路や道の修繕、雑草刈り、増えすぎた竹の伐採等々：頭が痛いです。自然は待ってくれません。



新しくなった
パンとお菓子の工房
食パン・菓子パンご注文
下さい

おいしい!!



第4回理事会

理事・監事の任期満了に伴う各役員の再任についての議案をはじめ、今年度の補正予算と来年度の当初予算や事業計画についての説明等、今年度最後の話し合いが行われました。

3月20日(水)

★議案内容

1. 理事・監事の任期満了に伴う同人の再任について
2. 今年度補正予算と来年度当初予算について
3. 来年度の事業計画について
4. 監事監査の時期について
5. 3月28日の評議員会に向けての準備
6. 各方面からの寄付や助成金について
7. その他の報告事項

★理事会

- ・ 理事長 中谷勇一 (施設長)
- ・ 理事 小南廣之 (淡路市社会福祉協議会会長)
- ・ 理事 竹代久江 (利用者の親)
- ・ 理事 中谷秀子 (施設職員)
- ・ 理事 中村明裕 (医師)
- ・ 理事 藤永憲 (学識経験者)

第3回評議員会

理事会で協議された議案につき、評議員会でも承認を得るまで議論を重ねました。

3月28日(木)

★審議事項

1. 議事録署名人の選任
2. 理事・監事の任期満了に伴う再任について
3. 今年度補正予算の承認
4. 来年度当初予算及び事業計画の承認
5. 来年度定時評議員会について (時期と内容)
6. 資産変更登記手続きについて
7. 社会福祉法人現況報告書の提出
8. その他の報告事項

★評議員会

- ・ 評議員 岡田有美 (医師)
- ・ 評議員 桑名泰広 (利用者)
- ・ 評議員 関美恵子 (団体役員)
- ・ 評議員 永井満 (学識経験者)
- ・ 評議員 平田國雄 (山田まちづくり協議会副会長)
- ・ 評議員 松田和義 (淡路市社会福祉協議会副会長)
- ・ 評議員 山谷育代 (利用者の親)

【事業所交流会の目的】

障害者の地域生活を保障する障害福祉サービス事業者が、情報交換、意見交換を行い、事業経営上の課題等を共有化しつつ連携して恒常的に課題解決に取り組むことにより、障害者の地域生活を支える基幹サービスである障害福祉サービス事業が本来の趣旨に沿った高い質及び必要量のサービスが提供されることを目的としてこの交流会を設置する。

● 4月20日 (土)

赤松典嗣

【内容】

「障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議(障大連)」の細井清和氏より説明があった。この4月からの制度の仕組みについての資料を元に。

主に65才問題として、「障害福祉サービスに相当するサービスが、介護保険にある場合には介護保険が優先」。もちろん各市町村、地域差があるようだ。

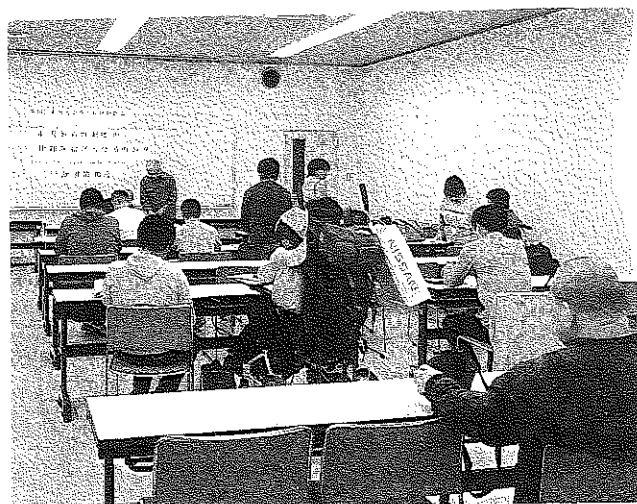
後半、2019年10月から新しい「処遇改善」について意見が出た。現在全産業の年収440万円

【感想】

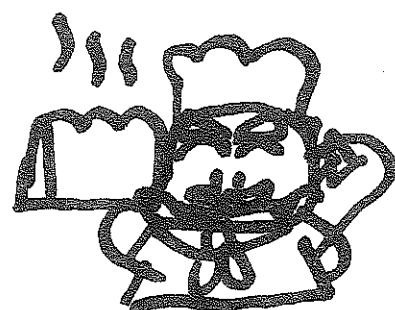
平均を目指すためか、10年有資格者で月8万、年96万円増と言うが、職員間の不公平になる恐れはないか。

65才時に介護保険に移行。障害福祉サービスが受けられなくなる問題。「働き方改革」と称して処遇改善で年収増も職員のスキル向上につながるか。

障害者福祉サービスの向上も確保したいものです。



ぶったあのパン
是非お買い求めください!



竹代恭子

利用者募集

障がいがあっても、共に学び、楽しみ、働く喜びを求めるメンバーを募集しています。愉快的なメンバーや、スタッフが笑顔で迎えます。いつでもお問い合わせください。

<<障害者春闘2019に参加して>>

中谷 秀子

障害者問題を考える兵庫県連絡会議では、毎年「障害者春闘」を開催し、講演会とデモ行進を行っています。

今年は、4月6日（土）にメンバー3名と参加し、尾上浩二氏の講演「今後の障害者施策の動向、地方行政に求められること」障害者運動が果たすべき今後の役割」を聴きました。

まず、尾上さんの生い立ちから話され、1960年に大阪で生まれ、小学校生活を特別支援学校で過ごし、施設、医療訓練を経て、地域の中学校に入学。学生生活を終えると、障害者運動にかかわり、バリアフリーや障害者支援を続けていました。その後、東京へ出て内閣府の調査官やアドバイザーとして活躍され、2018年に大阪に帰ってきました。

2013年に障害者差別解消法ができましたが、各自自治体で、障害当事者が参加して条例を作ることが重要だと言われました。

2014年に、日本は障害者権利条約の締約国になりましたが、果たして社会や私たちの心の中に優生思

想はないでしょうか。相模原事件や三田市の監禁事件など、怒りがこみ上げる差別事件が後を絶ちません。権利条約には19条に地域で支援されながら自立生活を行うこと、24条では、インクルーシブ教育により脱施設、地域生活支援を行うことが示されています。実現に向けて進んでいるでしょうか。今後、制度の見直しに向け、チェックし、発言していくよう訴えられました。

講演後、会場から報告の手が上がりました。Bすけっとの藤原さんからは、強制的に不妊手術をされた宮城県的女性の訴えをはじめ、20名の方が7地裁で闘っていることを話されました。シンキングの船橋さんは、施設や病院は不透明で、何が行われているかわからない。不安で、危険であると話されました。

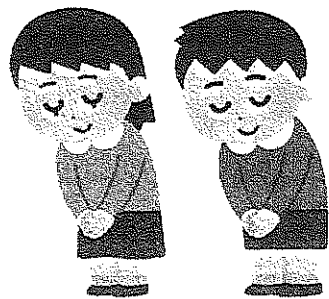
ピープルファーストの柴田さんは、相模原事件や三田市の監禁事件に触れ、「人が人をいじめている。」「自分が自分をいじめている。」「私たちも人間だ。生きているんだ。」を認めてほしいと訴えました。

【ご寄付ありがとうございます】

（5月9日・敬称略）

栗山一宇・大下ちさと・片山商店・
今井すみ子・平田國雄・尼崎和美・
尼崎和良・永井美和子・モンマートなかむら・
岩屋キリスト教会・栗山千代子

ご協力ありがとうございました



ご寄付のお願い

「ぶったあ福祉会」では、障がい者の地域生活を支援するために様々な事業を展開しています。どんな障害があろうと、働き、社会参加していく場を広げようと日々取り組んでいます。そのようなぶったあ福祉会の理念を実現するために、財政的な面でご支援いただける方を募集しています。金額はいくらでも結構です。宜しくお願い致します。

◇ご寄付いただく場合には、申請書に記入が必要になります。
◇社会福祉法人への寄付には、税制上の優遇処置があります。
確定申告時に、寄付された領収書を提出してください。

【郵便振替】

00940-4-276683 社会福祉法人ぶったあ福祉会

【お問合せ先】

ぶったあ福祉会事務局 会計担当 立木
(電話番号 0799-70-6145)

ウェブページ、イベント等の活動報告更新しています！
ご覧ください。

『ぶったあ福祉会』で検索

<http://awaji-butta.or.jp/>

